

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公表特許公報(A)

(11)公表番号
特表2025-510330
(P2025-510330A)

(43)公表日 令和7年4月14日(2025.4.14)

(51)国際特許分類
B 6 5 D 67/02 (2006.01)

F I
B 6 5 D 67/02

テーマコード (参考)
3 E 0 6 7

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全22頁)			
(21)出願番号	特願2024-557550(P2024-557550)	(71)出願人	504075588
(86)(22)出願日	令和5年3月27日(2023.3.27)		グラフィック パッケージング インター
(85)翻訳文提出日	令和6年11月5日(2024.11.5)		ナショナル エルエルシー
(86)国際出願番号	PCT/US2023/016394		アメリカ合衆国 3 0 3 2 8 ジョージア
(87)国際公開番号	WO2023/192168		, アトランタ, リヴァレッジ パークウ
(87)国際公開日	令和5年10月5日(2023.10.5)		エイ 1 5 0 0, 스위트 1 0 0, ロー
(31)優先権主張番号	63/324,264		デパートメント - ナインス フロアー
(32)優先日	令和4年3月28日(2022.3.28)	(74)代理人	100094112
(33)優先権主張国・地域又は機関	米国(US)		弁理士 岡部 譲
(31)優先権主張番号	63/346,494	(74)代理人	100101498
(32)優先日	令和4年5月27日(2022.5.27)		弁理士 越智 隆夫
(33)優先権主張国・地域又は機関	米国(US)	(74)代理人	100107401
(81)指定国・地域	AP(BW,CV,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ		弁理士 高橋 誠一郎
	最終頁に続く	(74)代理人	100120064
			弁理士 松井 孝夫
			最終頁に続く

(54)【発明の名称】 容器のためのキャリア

(57)【要約】

複数の容器を保持するキャリアであって、キャリアは、複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容する複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、折り線において中央パネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、複数の容器それぞれの間に位置付けられるようにベース部分から延在する複数の離隔した範囲とを含む、少なくとも一つの補強フラップと、折り線を中断すると共に、中央パネルと少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部とを備えることを特徴とする。

【選択図】 図 2

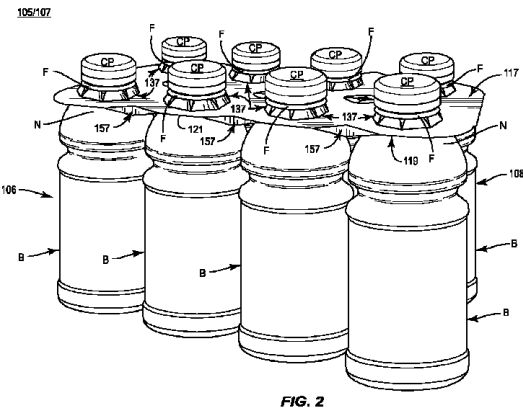


FIG. 2

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の容器を保持するキャリアであって、

前記複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容する複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、

折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、前記複数の容器それぞれの間に位置付けられるように前記ベース部分から延在する複数の離隔した範囲を含む、少なくとも一つの補強フラップと、

前記折り線を中断すると共に、前記中央パネルと前記少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部と、
を備えることを特徴とするキャリア。

10

【請求項 2】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、前記中央パネルに対して略直立していることを特徴とする請求項 1 に記載のキャリア。

【請求項 3】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、弱化線によって形成されていることを特徴とする請求項 2 に記載のキャリア。

【請求項 4】

前記弱化線は、複数の斜め線分を含み、該複数の斜め線分の各々は、該複数の斜め線分の他の少なくとも一つと交差することを特徴とする請求項 3 に記載のキャリア。

20

【請求項 5】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、略ダイヤモンド形状のパネルであることを特徴とする請求項 4 に記載のキャリア。

【請求項 6】

少なくとも一つの容器保持タブがそれぞれの折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されていると共に、前記複数の容器保持開口部それぞれに延在して位置付けられていることを特徴とする請求項 2 に記載のキャリア。

【請求項 7】

前記少なくとも一つの補強フラップは第 1 の補強フラップであり、前記折り線は第 1 の折り線であり、前記少なくとも一つの補強特徴部は前記第 1 の折り線を中断する第 1 の補強特徴部であり、前記キャリアは、第 2 の折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されている第 2 の補強フラップを更に備え、前記キャリアは、前記第 2 の折り線を中断する第 2 の補強特徴部を更に備えることを特徴とする請求項 6 に記載のキャリア。

30

【請求項 8】

前記第 1 の補強特徴部は前記第 1 の折り線を中断する第 1 の複数の離隔した補強特徴部の第 1 の補強特徴部であり、前記第 2 の補強特徴部は、前記第 2 の折り線を中断する第 2 の複数の離隔した補強特徴部の第 2 の補強特徴部であることを特徴とする請求項 7 に記載のキャリア。

【請求項 9】

前記少なくとも一つの補強フラップの前記ベース部分は第 1 の幅を有し、前記複数の範囲の各々は第 2 の幅を有し、該第 1 の幅は該第 2 の幅より大きいことを特徴とする請求項 2 に記載のキャリア。

40

【請求項 10】

前記複数の範囲のうち少なくとも一つは、テーパ状の構成を有することを特徴とする請求項 9 に記載のキャリア。

【請求項 11】

前記複数の範囲それぞれに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強タブを更に備えることを特徴とする請求項 9 に記載のキャリア。

【請求項 12】

50

複数のハンドル開口部を更に備え、前記複数の範囲の各々は、該複数のハンドル開口部それぞれと位置合わせされた湾曲した自由縁部を画定していることを特徴とする請求項 1 に記載のキャリア。

【請求項 13】

複数の容器を保持するキャリアを形成するためのブランクであって、

前記キャリアが前記ブランクから形成される際に前記複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容する複数の容器保持開口部を含むトップパネルと、

前記複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容する複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、

折り線において前記トップパネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、前記キャリアが前記ブランクから形成される際に前記複数の容器それぞれの間に位置付けられるように前記ベース部分から延在する複数の離隔した範囲とを含む、少なくとも一つの補強フラップと、

前記折り線を中断すると共に、前記中央パネルと前記少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部と、
を備えることを特徴とするブランク。

【請求項 14】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、前記キャリアが前記ブランクから形成される際に前記中央パネルに対して略直立して位置付けられるためのものであることを特徴とする請求項 13 に記載のブランク。

【請求項 15】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、弱化線によって形成されていることを特徴とする請求項 14 に記載のブランク。

【請求項 16】

前記弱化線は、複数の斜め線分を含み、該複数の斜め線分の各々は、該複数の斜め線分の他の少なくとも一つと交差することを特徴とする請求項 15 に記載のブランク。

【請求項 17】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、略ダイヤモンド形状のパネルであることを特徴とする請求項 16 に記載のブランク。

【請求項 18】

少なくとも一つの容器保持タブがそれぞれの折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されていると共に、前記複数の容器保持開口部それぞれに延在して位置付けられていることを特徴とする請求項 14 に記載のブランク。

【請求項 19】

前記少なくとも一つの補強フラップは第 1 の補強フラップであり、前記折り線は第 1 の折り線であり、前記少なくとも一つの補強特徴部は前記第 1 の折り線を中断する第 1 の補強特徴部であり、前記ブランクは第 2 の折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されている第 2 の補強フラップを更に備え、前記ブランクは前記第 2 の折り線を中断する第 2 の補強特徴部を更に備えることを特徴とする請求項 18 に記載のブランク。

【請求項 20】

前記第 1 の補強特徴部は前記第 1 の折り線を中断する第 1 の複数の離隔した補強特徴部の第 1 の補強特徴部であり、前記第 2 の補強特徴部は前記第 2 の折り線を中断する第 2 の複数の離隔した補強特徴部の第 2 の補強特徴部であることを特徴とする請求項 19 に記載のブランク。

【請求項 21】

前記少なくとも一つの補強フラップの前記ベース部分は第 1 の幅を有し、前記複数の範囲の各々は第 2 の幅を有し、該第 1 の幅は該第 2 の幅より大きいことを特徴とする請求項 14 に記載のブランク。

【請求項 22】

前記複数の範囲の少なくとも一つは、テーパ状の構成を有することを特徴とする請求項 21 に記載のブランク。

【請求項 23】

前記複数の範囲それぞれに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強タブを更に備えることを特徴とする請求項 21 に記載のブランク。

【請求項 24】

複数のハンドル開口部を更に備え、前記複数の範囲の各々は、前記キャリアが前記ブランクから形成される際に該複数のハンドル開口部それぞれと位置合わせされる湾曲した自由縁部を画定することを特徴とする請求項 23 に記載のブランク。

【請求項 25】

複数の容器を保持するキャリアを形成する方法であって、

複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、折り線において該中央パネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、前記ベース部分から延在する複数の離隔した範囲とを含む、少なくとも一つの補強フラップと、前記折り線を中断すると共に、前記中央パネルと前記少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部とを備えるブランクを取得するステップと、

前記複数の容器保持開口部が前記複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容するように位置付けられると共に、前記複数の離隔した範囲が前記複数の容器それぞれの間に位置付けられるように、前記少なくとも一つの補強フラップを折り曲げるステップと、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 26】

前記少なくとも一つの補強特徴部が前記中央パネルに対して略直立するように、前記少なくとも一つの補強フラップが折り曲げられることを特徴とする請求項 25 に記載の方法。

【請求項 27】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、弱化線によって形成されていることを特徴とする請求項 26 に記載の方法。

【請求項 28】

前記弱化線は複数の斜め線分を含み、該複数の斜め線分の各々は該複数の斜めの線分の他の少なくとも一つと交差することを特徴とする請求項 27 に記載の方法。

【請求項 29】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、略ダイヤモンド形状のパネルであることを特徴とする請求項 28 に記載の方法。

【請求項 30】

少なくとも一つの容器保持タブがそれぞれの折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されていると共に、前記複数の容器保持開口部それぞれに延在して位置付けられていることを特徴とする請求項 26 に記載の方法。

【請求項 31】

前記少なくとも一つの補強フラップは第 1 の補強フラップであり、前記折り線は第 1 の折り線であり、前記少なくとも一つの補強特徴部は前記第 1 の折り線を中断する第 1 の補強特徴部であり、前記ブランクは第 2 の折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されている第 2 の補強フラップを更に備え、前記ブランクは前記第 2 の折り線を中断する第 2 の補強特徴部を更に備えることを特徴とする請求項 30 に記載の方法。

【請求項 32】

前記第 1 の補強特徴部は前記第 1 の折り線を中断する第 1 の複数の離隔した補強特徴部の第 1 の補強特徴部であり、前記第 2 の補強特徴部は前記第 2 の折り線を中断する第 2 の複数の離隔した補強特徴部の第 2 の補強特徴部であることを特徴とする請求項 31 に記載の方法。

【請求項 33】

10

20

30

40

50

前記少なくとも一つの補強フラップの前記ベース部分は第１の幅を有し、前記複数の範囲の各々は第２の幅を有し、前記第１の幅は前記第２の幅より大きいことを特徴とする請求項２６に記載の方法。

【請求項３４】

前記複数の範囲の少なくとも一つは、テーパ状の構成を有することを特徴とする請求項３３に記載の方法。

【請求項３５】

前記ブランクは、前記複数の範囲それぞれに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強タブを更に備えることを特徴とする請求項３３に記載の方法。

【請求項３６】

前記ブランクは複数のハンドル開口部を更に備え、前記複数の範囲の各々は湾曲した自由縁部を画定し、前記少なくとも一つの補強フラップは前記複数の範囲それぞれの前記湾曲した自由縁部が前記複数のハンドル開口部それぞれと位置合わせされるように折り曲げられることを特徴とする請求項３５に記載の方法。

【請求項３７】

パッケージであって、該パッケージは、
複数の容器と、
前記複数の容器を保持するキャリアと、
を備え、

前記キャリアは、

前記複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容する複数の容器保持開口部を備える中央パネルと、

折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、前記ベース部分から延在すると共に、前記複数の容器それぞれの間に位置付けられる複数の離隔した範囲とを含む、少なくとも一つの補強フラップと、

前記折り線を中断すると共に、前記中央パネルと前記少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部と、
を備えることを特徴とするパッケージ。

【請求項３８】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、前記中央パネルに対して略直立していることを特徴とする請求項３７に記載のパッケージ。

【請求項３９】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、弱化線によって形成されていることを特徴とする請求項３８に記載のパッケージ。

【請求項４０】

前記弱化線は複数の斜め線分を含み、該複数の斜め線分の各々は該複数の斜め線分の他の少なくとも一つと交差することを特徴とする請求項３９に記載のパッケージ。

【請求項４１】

前記少なくとも一つの補強特徴部は、略ダイヤモンド形状のパネルであることを特徴とする請求項４０に記載のパッケージ。

【請求項４２】

少なくとも一つの容器保持タブがそれぞれの折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されていると共に、前記複数の容器保持開口部それぞれに延在して位置付けられていることを特徴とする請求項３８に記載のパッケージ。

【請求項４３】

前記少なくとも一つの補強フラップは第１の補強フラップであり、前記折り線は第１の折り線であり、前記少なくとも一つの補強特徴部は前記第１の折り線を中断する第１の補強特徴部であり、前記キャリアは第２の折り線において前記中央パネルに折り曲げ可能に接続されている第２の補強フラップを更に備え、前記キャリアは前記第２の折り線を中断

10

20

30

40

50

する第2の補強特徴部を更に備えることを特徴とする請求項42に記載のパッケージ。

【請求項44】

前記第1の補強特徴部は前記第1の折り線を中断する第1の複数の離隔した補強特徴部の第1の補強特徴部であり、前記第2の補強特徴部は前記第2の折り線を中断する第2の複数の離隔した補強特徴部の第2の補強特徴部であることを特徴とする請求項43に記載のパッケージ。

【請求項45】

前記少なくとも一つの補強フラップの前記ベース部分は第1の幅を有し、前記複数の範囲の各々は第2の幅を有し、前記第1の幅は前記第2の幅より大きいことを特徴とする請求項38に記載のパッケージ。

10

【請求項46】

前記複数の範囲の少なくとも一つは、テーパ状の構成を有することを特徴とする請求項45に記載のパッケージ。

【請求項47】

前記複数の範囲それぞれに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強タブを更に備えることを特徴とする請求項45に記載のパッケージ。

【請求項48】

複数のハンドル開口部を更に備え、前記複数の範囲の各々は、該複数のハンドル開口部それぞれと位置合わせされる湾曲した自由縁部を画定することを特徴とする請求項47に記載のパッケージ。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

【関連出願の相互参照】

本願は、2022年5月27日に出願された米国仮特許出願第63／346,494号、及び2022年3月28日に出願された米国仮特許出願第63／324,264号の各々の利益を主張する。

【0002】

【参照による援用】

2021年9月28日に出願された米国特許出願第17／487,131号、2021年9月28日に出願された米国特許出願第17／487,113号、2021年3月24日に出願された米国意匠特許出願第29／775,557号、2021年3月24日に出願された米国意匠特許出願第29／775,558号、2021年3月24日に出願された米国意匠特許出願第29／775,559号、2021年3月24日に出願された米国意匠特許出願第29／775,560号、2021年9月28日に出願された米国特許出願第17／487,262号、2022年6月8日に出願された米国特許出願第17／835,127号、2022年5月11日に出願された米国意匠特許出願第29／838,182号、2022年5月27日に出願された米国仮特許出願第63／346,494号、及び2022年3月28日に出願された米国仮特許出願第63／324,264号の各々の開示は、全ての目的のため、その全体が本明細書に提示されているかのように参照により本明細書に援用される。

30

40

【背景技術】

【0003】

本開示は、概して、容器を保持、陳列及び／又は輸送するためのカートン又はキャリアに関する。

【発明の概要】

【0004】

一態様によれば、本開示は概して、複数の容器を保持するためのキャリアであって、当該キャリアは、複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容するための複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、折り線において当該中央パネルに折り曲げ可能に接続されて

50

いる少なくとも一つの補強フラップであって、当該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、複数の容器のそれぞれの間に位置付けられるように当該ベース部分から延在する複数の離隔した範囲とを含む、少なくとも一つの補強フラップと、折り線を中断すると共に、当該中央パネルと当該少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部とを備える、キャリアに関する。

【0005】

別の態様によれば、本開示は概して、複数の容器を保持するためのキャリアを形成するためのブランクであって、当該ブランクは、キャリアが当該ブランクから形成される際に複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容するための複数の容器保持開口部を含むトップパネルと、当該複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容するための複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、折り線において当該トップパネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、当該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、当該キャリアが当該ブランクから形成される際に当該複数の容器それぞれの間に位置付けられるように当該ベース部分から延在する複数の離隔した範囲とを含む少なくとも一つの補強フラップと、当該折り線を中断すると共に、当該中央パネルと当該少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部とを備える、ブランクに関する。

【0006】

別の態様によれば、本開示は概して、複数の容器を保持するためのキャリアを形成する方法であって、当該方法は、複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、折り線において当該中央パネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、当該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、当該ベース部分から延在する複数の離隔した範囲とを含む、少なくとも一つの補強フラップと、当該折り線を中断すると共に、当該中央パネルと当該少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部とを備えるブランクを取得するステップを含む。更に当該方法は、当該複数の容器保持開口部が当該複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容するように位置付けられると共に、当該複数の離隔した範囲が当該複数の容器それぞれの間に位置付けられるように、当該少なくとも一つの補強フラップを折り曲げるステップを含む。

【0007】

別の態様によれば、本開示は概して、パッケージであって、当該パッケージは、複数の容器と、当該複数の容器を保持するキャリアとを備える、パッケージに関する。当該キャリアは、当該複数の容器それぞれを少なくとも部分的に受容する複数の容器保持開口部を含む中央パネルと、折り線において当該中央パネルに折り曲げ可能に接続されている少なくとも一つの補強フラップであって、当該少なくとも一つの補強フラップは、ベース部分と、当該ベース部分から延在すると共に、当該複数の容器それぞれの間に位置付けられる複数の離隔した範囲とを含む、少なくとも一つの補強フラップと、当該折り線を中断すると共に、当該中央パネルと当該少なくとも一つの補強フラップとの間に位置付けられる少なくとも一つの補強特徴部とを備える。

【0008】

当業者は、以下に列挙された図面を参照して実施形態の以下の詳細な説明を読むことで、様々な追加の実施形態の上述の利点並びに他の利点及び利益を理解するであろう。上述の態様が個々に及び様々な組み合わせの双方において提供されることは、本開示の範囲内である。

【0009】

慣例によれば、以下で説明する図面の様々な特徴は、必ずしも一定の縮尺で描かれていない。図面中の様々な特徴及び要素の寸法は、本開示の実施形態をより明確に示すために拡大又は縮小され得る。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本開示の第1の例示的な実施形態によるキャリアを形成するためのブランクの外

10

20

30

40

50

面の平面図である。

【図 1 A】図 1 のブランクの一部の拡大図である。

【図 1 B】図 1 のブランクの一部の別の拡大図である。

【図 2】本開示の第 1 の例示的な実施形態による図 1 のブランクから形成されるキャリアと複数の容器とを含むパッケージの斜視図である。

【図 3】図 2 のパッケージ及びキャリアの底面図である。

【図 4】ユーザによって持ち上げられている図 2 のパッケージ及びキャリアの斜視図である。

【図 5】本開示の第 2 の例示的な実施形態によるキャリアを形成するためのブランクの外面の平面図である。

【図 5 A】図 5 のブランクの一部の拡大図である。

【図 6】本開示の第 2 の例示的な実施形態による図 5 のブランクから形成されるキャリアと複数の容器とを含むパッケージの斜視図である。

【図 7】図 6 のパッケージ及びキャリアの底面図である。

【図 8】ユーザによって持ち上げられている図 6 のパッケージ及びキャリアの斜視図である。

【図 9】本開示の第 3 の例示的な実施形態によるキャリアを形成するためのブランクの外面の平面図である。

【図 10】本開示の第 3 の例示的な実施形態による図 9 のブランクから形成されるキャリアと複数の容器とを含むパッケージの斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

対応する部分は、図面全体を通して対応する参照番号によって指定される。

【0012】

本開示は、概して、瓶、ボトル及び缶等の容器を保持及び陳列するためのキャリア、パッケージ、構造体、スリーブ又はカートン等に関する。当該容器は、例えば食品及び飲料製品を包装するために使用することができる。当該容器は、特定の食品又は飲料物品を包装するための組成物に好適な材料から作製することができ、当該材料としては、ガラスと、PET、LDPE、LLDPE、HDPE、PP、PS、PVC、EVOH 及びナイロン等のプラスチックと、アルミニウム及び／又は他の金属と、それらの任意の組み合わせとが挙げられるが、これらに限定されない。

【0013】

本開示によるパッケージは、多数の異なる形状の容器を収容することができる。本開示の範囲を限定する目的ではなく、例示の目的のために、以下の詳細な説明は、パッケージ実施形態内に少なくとも部分的に配置されている飲料容器（例えば、アルミニウム缶等の略円筒形容器）を説明する。本明細書では、「下側」、「底部」、「上側」及び「頂部」という用語は、完全に組み立てられたパッケージに関して決定される向きを示す。

【0014】

図 1 は、本開示の第 1 の例示的な実施形態によるキャリア 105（図 2）を形成するためのブランク 103 の外面 101 の平面図である。図 1 A 及び図 1 B は、ブランク 103 の一部の詳細図である。本明細書で更に説明されるように、キャリア 105 は、複数の容器を保持／支持／保定／受容するために構成することができる。キャリア 105 は、パッケージ 107（図 2）を形成するための一つ又は複数の容器を設けることができる。

【0015】

図 2 に示されているように、キャリア 105 は、八つの容器 B を収容又は支持するように寸法決めされており、四つの容器 B がキャリア 105 の前部 106 に取り付けられ、四つの容器 B がキャリア 105 の後部 108 に取り付けられる。図示される実施形態では、容器 B は、ボトル、例えばポリエチレンテレフタレート（PET）又は別のポリマーから形成されると共に、キャップ CP を少なくとも部分的に支持するフランジ F と交差する少なくとも部分的にテーパ状のネック部分 N を含む上側部分を有する、プラスチックボトル

10

20

30

40

50

であることができる。他の実施形態では、容器 B は、飲料缶又は別の適切なタイプ及び寸法の容器であり得る。キャリア 105 は、パッケージ 107 として容器 B のうちの一つ又は複数と共に設けることができる。

【0016】

更に図 1、図 1 A 及び図 1 B を参照すると、ブランク 103 は、縦軸 L1 及び横軸 L2 を有する。一実施形態では、軸 L1 は横軸とすることができ、軸 L2 は縦軸とすることができる。ブランク 103 は、本明細書で更に説明されるように、キャリア 105 がブランク 103 から形成される際に容器 B と係合するための容器保持特徴部を含む取り付けパネルすなわち中央パネル 117 を備える。

【0017】

図示の実施形態では、ブランク 103 はまた、縦折り線 121（広義には「第 1 の折り線」）において中央パネル 117 に折り曲げ可能に接続されている第 1 の補強パネルすなわち第 1 の補強フラップ 119 と、縦折り線 125（広義には「第 2 の折り線」）において中央パネル 117 に折り曲げ可能に接続されている第 2 の補強パネルすなわち第 2 の補強フラップ 123 とを備える。本明細書で更に説明するように、補強フラップ 119 及び 123 の一方又は双方は、ブランク 103 から形成されるキャリア 105 / パッケージ 107 の一つ又は複数の部分を少なくとも部分的に補強するための補強特徴部を含むことができる。いくつかの実施形態では、補強フラップ 119 及び 123 の一方又は双方は、ブランク 103 / キャリア 105 / パッケージ 107 の容器保持特徴部の一部を形成することもできる。

【0018】

ブランク 103 / 中央パネル 117 の容器保持特徴部は、少なくとも容器保持開口部 135（広義には、「第 1 の複数の容器保持開口部」）を含むことができる。図示されているように、容器保持開口部 135 は、ブランク 103 から形成されるキャリア 105 によって保持される容器の所望の数に対応する数の行列配置で設けることができる。中央パネル 117 は、それぞれ四つの開口部 135 の二つの行 / 列で設けられている容器保持開口部 135 を有するように示されているが、本開示から逸脱することなく、異なる数及び / 又は配置の容器保持開口部 135 を設けることができることが理解されるであろう。

【0019】

図 1 及び図 1 A に示されているように、容器保持開口部 135 は、略円形の構成を有することができる。容器保持タブ 137（広義には、「第 1 の容器保持タブ」又は「第 1 の容器保持突出部」）が、それぞれの斜め折り線 139 において中央パネル 117 に少なくとも部分的に折り曲げ可能に接続されると共に、容器保持開口部 135 の横方向及び縦方向に対向する側部上で容器保持開口部 135 内に / 容器保持開口部 135 に向かって延在して位置付けられる。隣接する容器保持タブ 137 は、それぞれの斜め切れ目 136 において少なくとも部分的に分離され得る。容器保持タブ 137 の一つ又は複数のは、本開示から逸脱することなく、異なる構成又は配置を有することができることが理解されるであろう。例えば一実施形態では、容器保持タブ 137 は、それぞれの容器保持開口部 135 内に突出する中央パネル 117 の縁部の形態を有することができる。

【0020】

図 1 B に詳細に示されているように、ブランク 103 / キャリア 105 はまた、一対の横方向に対向する湾曲縁部 140 と、一対の縦方向に対向する湾曲縁部 142 と、それぞれの湾曲縁部 140 の終点からそれぞれの隣接する湾曲縁部 142 の終点まで延在する複数の傾斜縁部 144 とによって中央パネル 117 に画定される複数のハンドル開口部 138 を含むハンドル特徴部を有することができる。

【0021】

ハンドルタブ 141、143 のそれぞれの対は、それぞれの斜め折り線 145 において中央パネル 117 に折り曲げ可能に接続されると共に、それぞれのハンドル開口部 138 内に少なくとも部分的に延在するように位置付けられ得る。ハンドルタブ 141、143 は、それぞれの隣接する対で配置することができ、ハンドルタブ 141 の各対は、概ね対

10

20

30

40

50

向する関係、且つ対向する関係にあるハンドルタブ143のそれぞれの対に隣接して位置付けられ、隣接するハンドルタブ141、143は、それぞれの切れ目146において分離される。図示の実施形態では、斜め折り線145は、それぞれのハンドル開口部138のそれぞれの斜め縁部144と少なくとも部分的に同一の広がりをもつことができる。

【0022】

この点に関して、図示されているように、四つの交互の概ね対向するハンドルタブ141、143の組を、中央パネル117に沿って選択された位置及び／又は選択された間隔で設けることができる。本開示から逸脱することなく、異なる数及び配置のハンドル特徴部を設けることができることが理解されるであろう。

【0023】

図示されているように、ハンドルタブ141は、それぞれの隣接する切れ目146の終点から別のそれぞれの隣接する切れ目146の終点まで延在する概ね凹状に湾曲した自由縁部を有することができる。ハンドル補強フラップ147は、図示されているように、それぞれの斜め折り線149においてそれぞれのハンドルタブ143に折り曲げ可能に接続することができると共に、ハンドルタブ141のそれぞれの凹状湾曲縁部に対応する少なくとも部分的に湾曲した縁部を有することができる。ハンドル補強フラップ147は、それぞれの切れ目146によって少なくとも部分的に二分することができ、隣接するハンドル補強フラップ147は、それぞれの斜めの切れ目151において分離することができる。

【0024】

引き続き図1、図1A及び図1Bを参照すると、それらから形成されるブランク103／キャリア105は、使用時にブランク103／キャリア105の部分の相対的な移動を強固／抑制するように構成され得る。示されているように、一連の三つの横方向に離隔されている補強パネル157（広義には、「第1の補強特徴部」又は「第1の複数の離隔されている補強特徴部」）が、折り線121を中断して位置付けることができる。各補強パネル157は、図示されているように、中央パネル117と補強フラップ119との間のブランク103／キャリア105の領域とすることができ、これは、折り線121のセグメントの終点間に延在する弱化線159によって画定される。

【0025】

弱化線159は、図示されているように、複数の交差する斜め線分（segment）159a、159b、159c、159dを含むことができる。図示の実施形態では、線分159a、159b、159c、159dの各々は、略菱形形状／略ダイヤモンド形状の補強パネル157を形成するように配置することができる。一実施形態では、弱化線159の線分159a、159b、159c、159dの各々は、軸L1、L2の各々に対して約45°の角度で配置することができる。弱化線159／補強パネル157の一つ又は複数の、本開示から逸脱することなく、一つ又は複数の異なる特徴部、例えば湾曲及び／又は縦部分／横部分を有することができることが理解されるであろう。

【0026】

示されているように、一連の三つの縦方向に離隔された補強パネル157（広義には、「第2の補強特徴部」又は「第2の複数の離隔された補強特徴部」）もまた、中央パネル117と補強フラップ123との間に位置付けられるように、折り線125を中断して設けることができる。本開示から逸脱することなく、異なる数及び／又は配置の補強パネル157を設けることができることが理解されるであろう。

【0027】

図1、図1A及び図1Bを更に参照すると、ブランク103／キャリア105／パッケージ107の補強特徴部は、補強フラップ119、123の一つ又は複数の部分を含み得る。図示されているように補強フラップ119は、概ね湾曲した自由縁部163を画定する複数の縦方向に離隔されたテーパ状の横方向範囲（領域）（extent）161の一般的な形態を有するベース部分160を含む。示されているように、ブランク103のそれぞれの補強フラップ119、123のベース部分160、及びそこから形成されるキャリア1

05は、各範囲161によって画定される第2の縦方向幅D2より大きい第1の縦方向幅D1（図3）を画定することができる。

【0028】

図示されているように一对の補強タブ165は、それぞれの斜め折り線167においてそれぞれの範囲161の対向する自由縁部に折り曲げ可能に接続することができる。各補強タブ165は、図示されているようにそれぞれの縦方向自由縁部171と交差するそれぞれの斜め外側自由縁部169と、それぞれの縦方向自由縁部171と交差するそれぞれの内側湾曲自由縁部173とを画定する。各内側湾曲自由縁部173は、範囲161及び補強タブ165の各組によって形成される凹部又は概ね連続的な凹状縁部175を形成するように、隣接する範囲161の自由縁部163の終点と交差する。

10

【0029】

同様に、第2の補強フラップ123は、複数の縦方向に離隔された範囲161と、補強タブ165と、関連する特徴部とを有するベース部分160を含むことができる。

【0030】

パネル、フラップ、折り線、切れ目又は他の特徴部のいずれかは、本開示から逸脱することなく、別様に成形され、配置され及び／又はブランク103から省略され得る。ブランク103は、本開示から逸脱することなく、八つよりも多い又は少ない容器を収容するような寸法及び／又は形状とすることができる。

【0031】

図2及び図3を更に参照すると、キャリア105／パッケージ107を形成する一つの例示的な実施形態によれば、ブランク103は、一群の容器Bの上方に位置付けることができ、補強フラップ119、123は、各補強フラップ119、123及び関連する補強タブ165によって提示される凹状湾曲縁部175が、それぞれのハンドル開口部138のそれぞれの湾曲縁部140、142及びそれぞれの隣接する斜め縁部144のそれぞれの部分と概ね位置合わせされるように、それぞれの折り線121、125においてブランク103の内面及び下面に向かって折り曲げることができる。更にそのような配置では、それぞれの補強フラップ119、123から延在するそれぞれの範囲161は、複数の容器Bそれぞれの間に延在するように位置付けられる。

20

【0032】

そのような配置では、中央パネル117は、補強フラップ119、123のそれぞれの部分と少なくとも部分的に対面接触することができ、ブランク103は、それぞれの容器Bの少なくともそれぞれのキャップCP及びフランジFが、それぞれの容器保持開口部135を通して少なくとも部分的に受容され得るように、容器B上に下降され得る。一実施形態では、複数の容器Bの一つ又は複数のネック部分Nの少なくとも一部分は、それぞれの容器保持開口部135を通して受容され得る。

30

【0033】

それぞれの容器保持開口部135を通るそれぞれの容器Bのそれぞれの上側部分のそのような移動は、中央パネル117に対して少なくとも部分的に上方に延在するように、容器保持タブ137をそれぞれの折り線139において上方に付勢させることができる。この点に関して、容器保持タブ137は、中央パネル117から延在して、それぞれの容器Bの上部のそれぞれのフランジF又は他の構造体の下面に接触して、それらの間の任意の間隔を吸収／充填すると共に、中央パネル117とそれぞれの容器Bとの強固に安定した係合に寄与することができる。

40

【0034】

加えて、図4を参照すると、中央パネル117のそれぞれの部分と補強フラップ119、123との重なり合う関係は、補強フラップ119、123が、曲げ、座屈、屈曲及びねじれ等を最小限にする／それらに抵抗することができる、下にある支持体又は棚状の特徴部を提供すると共に、中央パネル117及びそこから上方に延在する容器保持タブ137が支持される安定したプラットフォームを提供するものである。一実施形態では、それぞれの範囲161への補強タブ165の折り曲げ可能な接続は、例えばキャリア105／

50

パッケージ１０７の移動中に応力緩和を提供するために、それぞれの範囲１６１への補強タブ１６５の相対的な移動を容易にすることができる。

【００３５】

中央パネル１１７と補強フラップ１１９、１２３との２層／重なり係合によって設けられる支持に加えて、補強パネル１５７は、中央パネル１１７及び／又は補強フラップ１１９、１２３によって画定される平面に対するキャリア１０５／パッケージ１０７の曲げ、座屈、屈曲及びねじれ等を更に最小化／抵抗する略直立／鉛直構造を形成するように、中央パネル１１７及び補強フラップ１１９、１２３に対して外向きの配置で提示され、例えばキャリア１０５／パッケージ１０７は、縦軸Ｌ１及び横軸Ｌ２の双方に沿ったそのような力／移動を最小化／抵抗する。

10

【００３６】

パッケージ１０７／キャリア１０５は、選択された隣接するハンドルタブ１４１、１４３をそれぞれの切れ目１４６において互いから分離し、且つハンドルタブ１４１、１４３をそれぞれの折り線１４５において下方に折り曲げて、それぞれのハンドル開口部１３８の一つ又は複数の部分を露出させることによって、消費者によって把持されることが可能であり、ユーザは、そのハンドル開口部１３８を通して複数の指の一つ又は複数の指を挿入することができる。上述のように、それぞれの補強フラップ１１９、１２３の凹状縁部１７５は、キャリア１０５／パッケージ１０７に係合して持ち上げ／運搬し、又は他の方法で移動させるために、ユーザがそれぞれの補強フラップ１１９、１２３の下側、隣接する補強タブ１６５、及び／又は例えばそれぞれの凹状縁部１７５に隣接する中央パネル１１７の一部に係合することができるように、それぞれのハンドル開口部１３８に当接して／それらを包囲して位置付けることができる。

20

【００３７】

キャリア１０５の下面のそのような係合は、切れ目１５１におけるハンドル補強フラップ１４７の少なくとも部分的な分離と、それぞれの折り線１４９におけるその折り曲げとを含むことができる。一実施形態では、複数のハンドル補強フラップ１４７の一つ又は複数のハンドル補強フラップ１１９、１２３とそれぞれのハンドルタブ１４１、１４３との間に位置付けられることで複数のハンドル開口部１３８の一つ又は複数のハンドル開口部に隣接する３層補強領域を形成するように、それぞれの補強フラップ１１９、１２３と少なくとも部分的に対面接触するように折り曲げることができる。

30

【００３８】

パッケージ１０７／キャリア１０５が形成されると、例えばそれぞれの容器保持開口部１３５を通してそれぞれの容器ＢのフランジＦ及びキャップＣＰを引き出すことによって、容器Ｂ、中央パネル１１７及びそれぞれの補強フラップ１１９、１２３に係脱することによって、それぞれの容器Ｂをキャリア１０５から取り外すことができる。

【００３９】

キャリア１０５／パッケージ１０７は、本開示から逸脱することなく異なる構成を有し得ることが理解されるであろう。

【００４０】

図５及び図５Ａを参照すると、本開示の第２の例示的な実施形態によるキャリア２０５及びパッケージ２０７（図６）を形成するためのブランク２０３の外周面２０１が示されている。ブランク２０３及びそれから形成されるキャリア／パッケージは、ブランク１０３／キャリア１０５／パッケージ１０７に関して上述したものと同一又は同様の一つ又は複数の特徴部を有することができ、同様の又は類似の特徴部は、同様の又は類似の参照番号で指定される。

40

【００４１】

図示されているように、ブランク２０３は、補強タブ１６５を範囲１６１に取り付けずに補強フラップ１１９、１２３を設けることができることを除いて、上述したブランク１０３の特徴部と概ね同様の特徴部を有することができる。更に、それぞれの複数の縦方向に離隔された範囲２６１は、それぞれの補強フラップ１１９、１２３のそれぞれのベース

50

部分 160 から延在する。

【0042】

図示されているように、ブランク 203 及びそれから形成されるキャリア 205 の範囲 261 は、少なくとも部分的に切頭／平坦化された自由縁部 262 を有することができるが、ブランク 203／キャリア 205 の範囲 261 は、本開示から逸脱することなく、湾曲縁部、傾斜縁部及びテーパ等の一つ又は複数を組み込むことができる。この点に関して、ブランク 203 及びそれから形成されるキャリア 205 のそれぞれの補強フラップ 119、123 のベース部分 160 は、それぞれの範囲 261 によって画定される縦方向幅 D4 より大きい第 1 の縦方向幅 D3 を画定することができる。

【0043】

加えて、ハンドル開口部 138、及びブランク 203／キャリア 205 内の関連する特徴部は、上述のブランク 103／キャリア 105 の向きから時計回り又は反時計回りに概ね 90° だけ回転された向きを有することができる。

【0044】

更に、ブランク 203、及びそれから形成されるキャリア 205／パッケージ 207 は、三つの容器 B の二つの行／列を保持するように、例えば二つの行／列の容器保持開口部 135 及び関連する特徴部が設けられるように、縦方向に離隔された補強パネル 157 のそれぞれの対がそれぞれの折り線 121、125 を中断して設けられるように、且つ縦方向に離隔されたたハンドル開口部 138 及び関連する特徴部のそれぞれの対を設けることができるように、寸法決め及び構成することができる。ブランク 203 及びキャリア 205／パッケージ 207 は、支持される容器 B の所望の数に対応する特徴部の異なる構成及び／又は配置を備えることができることが理解されるであろう。

【0045】

図 6 及び図 7 を更に参照すると、ブランク 203 は、キャリア 205 に形成されると共に、一つ又は複数の容器 B に取り付けられて、中央パネル 117 の下面に補強タブ 165 が存在しない状態で、ブランク 103／キャリア 105／パッケージ 107 に関して上述の方法と同様の方法でパッケージ 207 を形成することができる。この点に関して、補強フラップ 119、123 は、中央パネル 117 と少なくとも部分的に対面接触するようにそれぞれの折り線 121、125 において折り曲げることができ、容器 B は、ブランク 103／キャリア 105／パッケージ 107 に関して上述した方法と同様の方法で、キャリア 205 によって少なくとも部分的に受容される／キャリア 205 に取り付けることができる。従って、それぞれの補強フラップ 119、123 の範囲 161 は、複数の容器 B それぞれの間に延在して位置付けることができる。

【0046】

従って、キャリア 205／パッケージ 207 には、三つの容器 B を支持する前部 206 と、三つの容器 B を支持する後部 208 とを設けることができる。

【0047】

図 8 を参照すると、中央パネル 117 のそれぞれの部分と補強フラップ 119、123 との重なり関係は、補強フラップ 119、123 が、曲げ、座屈、屈曲及びねじれ等を最小限にする／それらに抵抗することができる、下にある支持体又は棚状の特徴部を提供すると共に、中央パネル 117、及びそこから上方に延在する容器保持タブ 137 が支持される安定したプラットフォームを提供するものである。

【0048】

中央パネル 117 と補強フラップ 119、123 との 2 層／重なり係合によって提供される支持に加えて、補強パネル 157 は、例えばキャリア 105／パッケージ 107 に関して上述した方法と同様の方法で、キャリア 205／パッケージ 207 が縦軸 L1 及び横軸 L2 の双方に沿った曲げ、座屈、屈曲及びねじれ等を最小化する／抵抗するように、中央パネル 117 及び／又は補強フラップ 119、123 によって画定される平面に対するキャリア 105／パッケージ 107 のそのような力／移動を更に最小化する／抵抗する略直立／鉛直構造を形成するように、中央パネル 117 及び補強フラップ 119、123 に

10

20

30

40

50

対して外向きの配置で提示される。

【0049】

図9を参照すると、本開示の第3の実施形態によるキャリア305及びパッケージ307（図10）を形成するためのブランク303の外面301が示されている。ブランク303及びそれから形成されるキャリア／パッケージは、ブランク103／キャリア105／パッケージ107及びブランク203／キャリア205／パッケージ207に関して上述したものと同一又は同様の一つ又は複数の特徴部を有することができ、同様の又は類似の特徴部は、同様の又は類似の参照番号で指定される。

【0050】

図示されているように、ブランク303は、それぞれの折り線121、125の各々を中断する単一の補強パネル157が設けられることを除いて、上述したブランク103の特徴部と概ね同様の特徴部を有することができ、補強パネル157は、上述したブランク103／キャリア105／パッケージ107及びブランク203／キャリア205／パッケージ207のそれぞれの補強パネル157の縦方向幅よりも概ね大きい縦方向幅を有する。

10

【0051】

いくつかの実施形態では、補強パネル157の一方又は双方に関連付けられた弱化線159の一部は、本明細書に記載された方法でキャリア305／パッケージ307の形成を容易にするために、切れ目によって少なくとも部分的に中断され得る。いくつかの実施形態では、そのような切れ目は、それぞれの補強フラップ119、123に近接したそれぞれの弱化線159の一部分に沿って位置付けることができる。

20

【0052】

図10を更に参照すると、ブランク303は、ブランク103／キャリア105／パッケージ107及びブランク203／キャリア205／パッケージ207に関して上述した方法と同様の方法で、キャリア305に形成されると共に、一つ又は複数の容器Bに取り付けられてパッケージ307を形成することができる。この点に関して、補強フラップ119、123は、中央パネル117と少なくとも部分的に対面接触するようにそれぞれの折り線121、125において折り曲げることができ、容器Bは、ブランク103／キャリア105／パッケージ107及びブランク203／キャリア205／パッケージ207に関して上述した方法と同様の方法で、キャリア305によって少なくとも部分的に受容される／キャリア305に取り付けられ得る。従って、それぞれの補強フラップ119、123の範囲161は、複数の容器Bそれぞれの間に延在して位置付けることができる。

30

【0053】

従って、キャリア305／パッケージ307には、三つの容器Bを支持する前部306と、三つの容器Bを支持する後部308とを設けることができる。

【0054】

中央パネル117のそれぞれの部分と補強フラップ119、123との重なり関係は、補強フラップ119、123が、曲げ、座屈、屈曲及びねじれ等を最小限にする／抵抗することができる、下にある支持体又は棚状の特徴部を提供すると共に、中央パネル117及びそこから上方に延在する容器保持タブ137が支持される安定したプラットフォームを提供するものである。

40

【0055】

中央パネル117と補強フラップ119、123との2層／重なり係合によって提供される支持に加えて、補強パネル157は、例えばキャリア305／パッケージ307が、キャリア105／パッケージ107及びキャリア205／パッケージ207に関して上述した方法と同様の方法で、縦軸L1及び横軸L2の双方に沿った曲げ、座屈、屈曲及びねじれ等を最小化する／抵抗するように、中央パネル117及び／又は補強フラップ119、123によって画定される平面に対するキャリア105／パッケージ107のそのような力／移動を更に最小化する／抵抗する略直立／鉛直構造を形成するように、中央パネル117及び補強フラップ119、123に対して外向きの配置で提示される。

50

【0056】

本明細書に記載されるブランク103、203、303、キャリア105、205、305、及びパッケージ107、207、307の一つ又は複数は、本開示から逸脱することなく、異なるように構成又は配置された一つ又は複数の特徴部を有し得ることが理解されるであろう。

【0057】

一般的にブランクは、通常の紙よりも重く、且つより硬質であるように、厚さを有する板紙から構成されてもよい。ブランクは、厚紙等の他の材料、又はキャリアが少なくとも概ね上述したように機能することを可能にするのに適した特性を有する任意の他の材料で構成することもできる。ブランクは、例えば、クレーコーティングで被覆することができる。次いで、当該クレーコーティング上に製品、広告、及び他の情報又は画像を印刷することができる。次に、ブランクに印刷された情報を保護するために、当該ブランクをワニスで被覆することができる。ブランクはまた、例えば当該ブランクの片側又は両側に水分防護層で被覆されてもよい。ブランクはまた、選択されたパネル又はパネルセクションにおいて、一つ又は複数のシート状材料に積層され得るか、又は一つ又は複数のシート状材料で被覆され得る。

【0058】

一例として、引き裂き線は、所望の弱化線に沿って材料内に部分的に延在するスリット、及び／又は所望の弱化線に沿って材料内に部分的に及び／又は材料を完全に貫通して延在する一連の離隔したスリット、又はこれらの特徴部の様々な組み合わせを含むことができる。より具体的な例として、一つのタイプの引き裂き線は、材料を完全に貫通して延在する一連の離隔したスリットの形態であり、隣接するスリットは、引き裂き線を横切って材料を典型的には一時的に接続するために、隣接するスリット間に刻み目（nick）（例えば、材料の小さな幾分ブリッジ状の片）が画定されるように、わずかに離隔している。刻み目は、引き裂き線に沿って引き裂く間に破壊される。刻み目は、典型的には引き裂き線の比較的小さい割合であり、代替的に、引き裂き線が連続した切断線であるように、刻み目を引き裂き線から省略するか、又は引き裂き線において引き裂くことができる。すなわち、引き裂き線の各々を連続スリット等で置き換えることは、本開示の範囲内である。例えば切断線は、本開示から逸脱することなく、連続的なスリットであってもよく、又はスリットよりも幅広であってもよい。

【0059】

例示的な実施形態によれば、折り線は、必ずしも直線状ではないが、それに沿って折り曲げることが容易にする任意の実質的に直線状の弱化形態とすることができる。より具体的には、本開示の範囲を狭めることを目的とするものではないが、折り線は、所望の弱化線に沿って材料に押し潰された又は窪んだ部分を作り出す、鈍い切り込みナイフ等で形成される線等の切り込み線、所望の弱化線に沿って材料内に部分的に延在する切れ目、及び／又は所望の弱化線に沿って材料内に部分的に及び／又は完全に貫通して延在する一連の切れ目、並びにこれらの特徴部の様々な組み合わせを含む。折り線を作成するために切断が使用される状況では、典型的に当該切断は、合理的なユーザが折り線を引き裂き線であると誤って考える可能性があるように過度に広範囲ではない。

【0060】

上記の実施形態は、キャリア実施形態の組立中に接着剤によって共に接着された一つ又は複数のパネルを有するものとして説明され得る。「接着剤」という用語は、キャリアパネルを所定の位置に固定するために一般的に使用されるあらゆる種類の接着剤を包含することが意図される。

【0061】

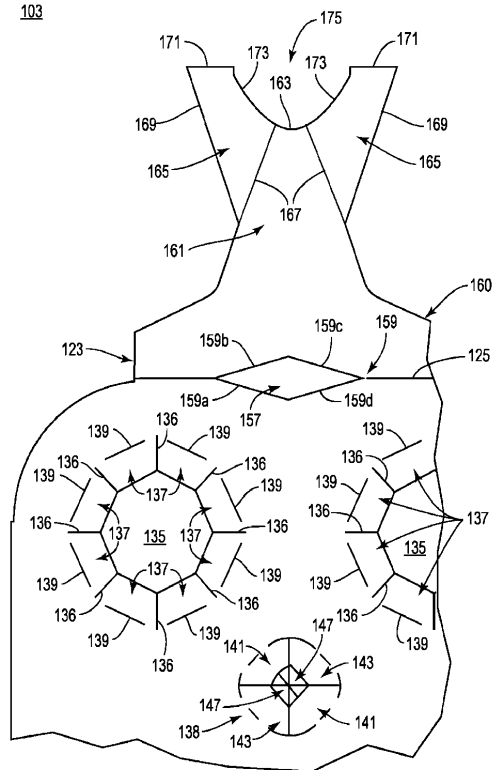
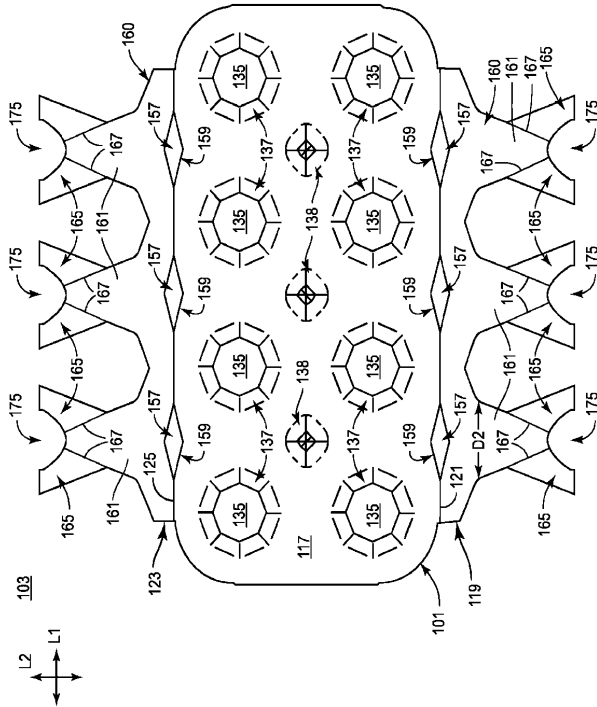
本開示の前述の説明は、種々の例示的な実施形態を例証及び説明する。種々の追加、修正及び変更等が、本開示の精神及び範囲から逸脱することなく、当該例示的な実施形態に対して行われることができる。上記の説明に含まれる、又は添付の図面において示される全ての事項は、例示として解釈されるべきであり、限定的な意味で解釈されるべきではな

いことが意図される。加えて本開示は、本開示の選択された実施形態のみを示し、説明しているが、本開示は、種々の他の組み合わせ、修正及び環境において使用することが可能であり、本明細書に表されるような発明的概念の範囲内で、上記の教示に相応して、及び／又は関連技術分野の技術若しくは知識内で、変更又は修正が可能である。更に、各実施形態のいくつかの特徴及び特性は、選択的に交換され、本開示の他の図示された実施形態及び図示されていない実施形態に適用され得る。

【図面】

【図 1】

【図 1 A】



10

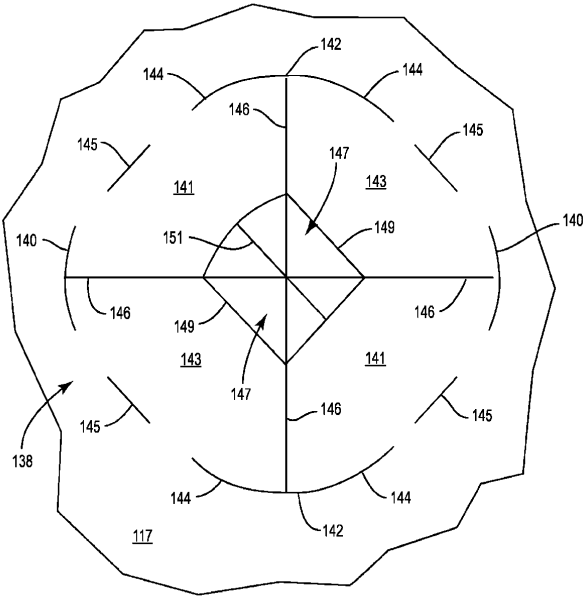
20

30

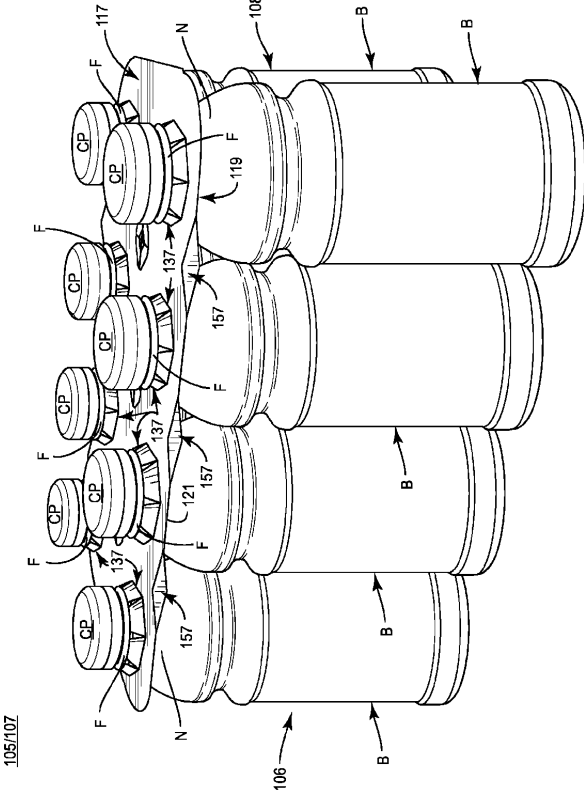
40

50

【図 1 B】



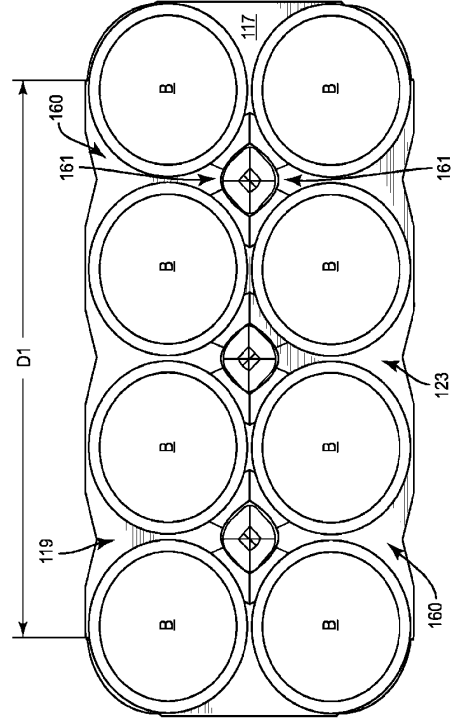
【図 2】



10

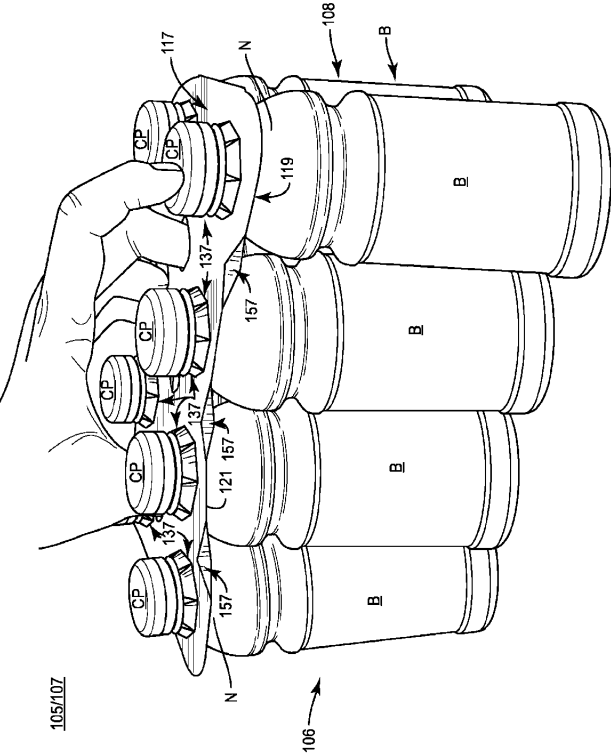
20

【図 3】



105/107

【図 4】



30

40

50

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/US2023/016394
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER B65D 71/44(2006.01)i; B65D 71/70(2006.01)i According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) B65D 71/44(2006.01); B65D 23/10(2006.01); B65D 71/00(2006.01); B65D 71/36(2006.01); B65D 81/26(2006.01); B65D 85/62(2006.01) Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean utility models and applications for utility models Japanese utility models and applications for utility models Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKOMPASS(KIPO internal) & Keywords: carrier, container, central panel, reinforcement flap, reinforcement feature, fold		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 4736977 A (KILLY, EARL J.) 12 April 1988 (1988-04-12) column 2, line 34 - column 3, line 40 and figures 1-4	1-48
Y	KR 10-2177176 B1 (MODUMOA CO., LTD.) 17 November 2020 (2020-11-17) paragraphs [0031]-[0037] and figures 1-11	1-48
Y	EP 0188327 B1 (THE MEAD CORPORATION) 16 August 1989 column 3, line 1 - column 4, line 23 and figures 1-4	11-12,23-24, 35-36,47-48
A	JP 08-324634 A (KIRIN BREWERY CO., LTD. et al.) 10 December 1996 paragraphs [0012]-[0019] and figures 1-6	1-48
A	EP 1851132 B1 (GRAPHIC PACKAGING INTERNATIONAL, INC.) 08 April 2015 (2015-04-08) claim 1 and figures 1-4	1-48
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "D" document cited by the applicant in the international application "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 19 July 2023		Date of mailing of the international search report 19 July 2023
Name and mailing address of the ISA/KR Korean Intellectual Property Office 189 Cheongsu-ro, Seo-gu, Daejeon 35208, Republic of Korea Facsimile No. +82-42-481-8578		Authorized officer HWANG, Chan Yoon Telephone No. +82-42-481-3347

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 2022)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/US2023/016394

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
US	4736977	A	12 April 1988	None	
KR	10-2177176	B1	17 November 2020	KR 10-2020-0106806	A 15 September 2020
EP	0188327	B1	16 August 1989	EP 0188327	A2 23 July 1986
				EP 0188327	A3 02 September 1987
				HK 70692	A 25 September 1992
JP	08-324634	A	10 December 1996	JP 3653678	B2 02 June 2005
EP	1851132	B1	08 April 2015	AU 2006-210541	A1 10 August 2006
				AU 2006-210541	B2 09 June 2011
				BR P10607123	A2 11 August 2009
				BR P10607123	B1 13 November 2018
				CA 2593913	A1 10 August 2006
				CA 2593913	C 14 September 2010
				CN 101137551	A 05 March 2008
				CN 101137551	B 23 June 2010
				EP 1851132	A2 07 November 2007
				JP 2008-528394	A 31 July 2008
				JP 3177197	U 26 July 2012
				MX 2007009185	A 17 August 2007
				US 2006-0169755	A1 03 August 2006
				US 7699215	B2 20 April 2010
				WO 2006-084120	A2 10 August 2006
				WO 2006-084120	A3 08 September 2006

フロントページの続き

,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,D
E,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,ME,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,S
M,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,
AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CV,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,
ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IQ,IR,IS,IT,JM,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,L
A,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,MG,MK,MN,MU,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,P
H,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,
UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW

(74)代理人 100182257

弁理士 川内 英主

(74)代理人 100202119

弁理士 岩附 秀幸

(72)発明者 スパイビー, シニア, レイモンド, アール.

アメリカ合衆国 3 0 1 2 6 ジョージア, メイブルトン, アイビー コート 4 7 5

(72)発明者 フォード, コリン, ピー.

アメリカ合衆国 3 0 1 8 9 ジョージア, ウッドストック, オールド フィールド コーブ 5 1 0

(72)発明者 トンプソン, ジョン

イギリス ビーエス 3 0 8 エージェイ ブリストル, キャドベリー ヒース, アールストーン クレ
セント 1 7 2

F ターム (参考) 3E067 AA30 AB26 AC03 BA15A BB01A BC04A EE12 FB20 FC06